

女性視点で新たな価値を創造 全産連女性部協議会が発足



全産連の永井良一会長(中央)と全国女性部協議会の運営チーム。左から東久保真弓副会長、二木玲子会長、一人置いて武本かや世話人兼事務局長、設立に携わった樋口かのこ大阪府産業資源循環協会理事。永井会長の女性部協議会への期待も大きい

近年の美の美容業界で女性の活躍が目立ち、男性社会で女性の活用が滞っていると言われる産業廃棄物処理業界にも、いよいよ女性の全国組織が誕生した。全国産業資源循環協会女性部協議会が21日発足。「女性視点で新たな価値を生み、持続可能な関係構築、人材を育成することで、社会の信頼される持続可能な産業廃棄物処理業界の発展に貢献」をミッションに掲げ、活動を開始した。現在全産連傘下の47都道府県産業資源循環協会(産業廃棄物処理)のうち、1都1県に女性部を設けている。全国協議会では女性部会長の形を先駆けて新設し、女性部を中心とした活動を通じて、女性が活躍できる環境を創出していく。女性部会長の形を先駆けて新設し、女性部を中心とした活動を通じて、女性が活躍できる環境を創出していく。

現状となっている。全国女性部協議会では「業務を両立しながら自身の視野を広げ、今の状況を見つめ、未来に希望を持って頑張る勇気を持って行動を起こすきっかけづくり」が目的。活動の提供するため、様々な取り組みを活用していき、組織の存在意義を創出していく。全国協議会立ち上げに向け、取組むべきことを話し合う。全産連関東地域協議会女性部会が会長、東久保真弓氏(愛知県産業資源循環協会女性部会副会長)が副会長、武本かや氏(兵庫県産業資源循環協会女性部会副会長)が事務局長を務める。

信頼される持続可能な廃棄物業界の発展に貢献

「女性が前向きに活躍できる環境を創出するための活動の企画・運営を担う」を活動方針とし、幅広い機会を提供し、オンライン・オフライン両方で、メンバー同士の交流を図る。今年度は、業界団体・企業との交流イベントや、女性部会長の形を先駆けて新設し、女性部を中心とした活動を通じて、女性が活躍できる環境を創出していく。全国協議会では女性部会長の形を先駆けて新設し、女性部を中心とした活動を通じて、女性が活躍できる環境を創出していく。全国協議会では女性部会長の形を先駆けて新設し、女性部を中心とした活動を通じて、女性が活躍できる環境を創出していく。

環境新聞

発行所 環境新聞社
東京本社 (03)3359-5371
東京100-0004 FAX(03)3351-1939
東京都新宿区四谷3-1-3
(第1印刷ビル)
大阪支社 (06)6252-5386
〒541-0056 FAX(06)6252-5386
大阪市中央区久太郎町3-1-15
新規購読用 (0120)1972-05
http://www.kankyo-news.co.jp/
振替口座 00150-5-20286
年間購読料 26,400円(税込)
©環境新聞社 2022

特集

産業廃棄物処理業の 新たな価値創造へ

紙面内容

- ◆全国産業資源循環協会
女性部協議会が発足……………9~11面
- ◆建設汚泥再生品「コンクリート再生砕石等」に関する有価物該当性に係る審査認証業務について……………12面
- ◆電子リユース
ビッグデータの幅広い活用を目指す……………13面
- ◆日本産業廃棄物処理振興センター……………14~15面
- ◆資源循環分野のDXを推進する取り組み……………16面
- ◆ペットホテルの水平リサイクル……………16面
- ◆西日本初の専業施設が本格稼働……………16面